

令和3年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156） こども青少年局企画部青少年課（電話：06-6208-8157）
条例上の設置目的	（男女共同参画センター西部館） 男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。 （こども文化センター） 優れた演劇、音楽、映画等の鑑賞及び絵画、工作等の創作その他の文化活動を通じ、健全な本市児童の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	異なる設置目的を持つ複合施設として「施設の管理・運営」を、男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務として「情報の収集及び提供」「講演会・講習会・研修会等の開催」「相談事業」「啓発」を、こどもの文化の形成の寄与に関する業務として「舞台芸術事業の提供」「情報収集・提供と相談事業」「人材養成・交流・協働事業」を、また「その他市長が必要と認める事業に関する業務」を実施。
成果指標	（男女共同参画センター西部館） 貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度 （こども文化センター） ホール稼働率／事業参加者数／事業満足度
数値目標	（男女共同参画センター西部館） 68.8%以上／80%以上／1,900人以上／800人以上／80%以上 （こども文化センター） 57%以上／9,500人以上／80%以上
指定管理者名	クレオ大阪西・こども文化センター共同事業体 （代表者）一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会 （構成員）一般財団法人 大阪教育文化振興財団 （構成員）サントリーパブリシティサービス株式会社 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 管理運営の成果・実績

(男女共同参画センター西部館)

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	68.8%以上	80%以上	1,900人以上	800人以上
年度実績	46.8%	99.7%	985人	978人
達成率	68.0%	124.6%	51.8%	122.3%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80%以上
年度実績	97.9%
達成率	122.4%

(こども文化センター)

成果指標	ホール稼働率	事業参加者数	事業満足度
数値目標	57%以上	9,500人以上	80%以上
年度実績	57.1%	6,353人	94.1%
達成率	100.2%	66.9%	117.6%

令和3年度 指定管理者年度評価シート

利用状況

(男女共同参画センター西部館)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	24,791	17,162	7,629
稼働率	46.8%	37.2%	9.6%

(こども文化センター)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	6,353	1,577	4,776
ホール稼働率	57.1%	5.1%	52.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	112,252,059	106,908,583	3,591,101	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等による利用料金収入減に対する補填
	計画	108,660,958	105,802,000		
利用料金収入	実績	2,923,940	1,750,170	-3,827,060	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等による利用率低下
	計画	6,751,000	4,992,000		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	6,401,525	6,476,670	-4,847,475	新型コロナウイルス感染症の影響による自主講座、参加費徴収事業の実施回数・参加者減による減
	計画	11,249,000	10,752,000		
合計	実績	121,577,524	115,135,423	-5,083,434	
	計画	126,660,958	121,546,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	79,460,872	65,540,326	10,300,872	当初計画と比して、配置職員の増員
	計画	69,160,000	60,101,000		
物件費	実績	52,903,768	52,256,581	-69,190	
	計画	52,972,958	56,955,000		
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	2,846,055	1,714,832	-1,681,945	新型コロナウイルス感染症の影響による自主事業(自主講座)の実施回数減、または中止
	計画	4,528,000	4,490,000		
合計	実績	135,210,695	119,511,739	8,549,737	
	計画	126,660,958	121,546,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

(男女共同参画センター西部館)

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	68.0%	—	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等の影響あり
貸室等利用者満足度	124.6%	S	
情報・図書コーナー利用者数	51.8%	—	新型コロナウイルス感染症による臨時休館等の影響あり
講座受講者数	122.3%	S	
講座受講者満足度	122.4%	S	

(こども文化センター)

評価項目	達成率	評価	特記事項
ホール稼働率	100.2%	B	
事業参加者数	66.9%	—	新型コロナウイルス感染症対策による定員削減の影響あり
事業満足度	117.6%	A	

令和3年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	クレオ大阪西 ：A こども文化センター ：B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、年間を通じて開館時間の変更等の対応を適切に行った。 ・貸室のWeb予約・コンビニ収納について適切に対応するとともに、施設の利便性向上に向けた取組みとして、360°カメラによる貸室案内のホームページへの掲載を行い、FacebookなどSNSを活用し、施設情報や事業案内を発信し、積極的な情報発信に努めた。 ・施設利用の状況（利用者数・利用率）は令和2年度より改善されている。 ・こども文化センターは年度当初からホール天井工事の工期延長や緊急事態宣言による6月20日までの臨時休館や、開館時間の短縮、定員の削減などにより、一年を通じて利用が低迷した。ホールの利用は、演奏や舞台の発表会が主であり、本番に向けた練習の目途が立ちにくいことからキャンセルが相次いだ。そんな中、主催事業や共催事業等でもホールの活用を工夫し、目標を達成したことは評価できる。 ・文化芸術振興費補助金を活用し、ホールにLAN回線や動画配信機器などの環境整備をし、事業で動画配信を試みるなど活用した。今後の活用が期待される。
事業計画の実施状況	クレオ大阪西 ：S こども文化センター ：A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用したセミナーの実施について、令和2年度に比べて、より多くの学習機会を提供するとともに、新たにオンデマンドセミナーとして作製した動画をクレオ大阪公式YouTubeチャンネルに公開する取組みを行い、学習機会の拡大を行った。 ・こども文化センターの学校等団体鑑賞事業では、コロナ禍以降、開催可否からの検討を重ね、2年ぶりに開催することができた。発表事業では、コロナ禍で各団体での発表会が難しいなか、こどもたちが舞台上で演奏演技ができ、達成感と自信につながる貴重な体験の場を提供することができた。鑑賞事業や教室事業も感染防止対策をとり、受講者が安心して参加できるよう安全管理に務めながら、芸術文化に触れる機会を提供したことは評価できる。ホールでの主催事業の開催手法が利用者の発表会等のロールモデルにつながるよう期待したい。 ・従来より実施している若年層を対象にした事業、親子を対象とした事業のほか、男性を意識した事業を展開したことも評価でき、セミナータイトルにも工夫が見受けられた。

令和3年度 指定管理者年度評価シート

	施設の有効利用	クレオ大阪西 ： B こども文化センター ： A	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア団体が主体となり、小学生に食事支援や前髪カットを無償で行う「居場所づくり」を意識した事業を行う等新たな展開に工夫が見受けられた。 ・ 次世代育成のための事業として、クレオ大阪南と連携し、小学6年生を対象とした地域企業での仕事体験など、将来の仕事や生き方について考える機会を提供した。 ・ 相談室を活用した事業として、新たにライフプラン相談を実施し、コロナ下で浮き彫りとなった課題に対応した。 ・ こども文化センターでは、学校における文化活動との協働として、区役所を始め、中学校や高校と連携し、ダンス、演劇、吹奏楽などの各種事業を実施したことは評価できる。
	社会的責任・市の施策との整合性	クレオ大阪西 ： A こども文化センター ： B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度に外部有識者から意見のあった「クレオ大阪西とこども文化センター相互の連携による積極的な取組や事業展開」について、これまで以上に施設相互の連携による積極的な取組（事業展開）を行い、それぞれの施設の強みを生かしていた。 ・ とりわけ、3月にはクレオ大阪西・こども文化センターで双方の各教室事業の合同発表会をホールで実施した。参加者が舞台発表の体験や他の教室の発表を楽しみ交流する機会となったことは評価できる。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設運営の対応のみならず、吊り天井対策工事など本市による大規模工事についても、本市との調整・協議を行い、利用者への影響を最小限に抑えるよう対応の検討を重ね、適切な対応を行った。

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力およびガスの需給契約について、競争的手法による事業者選定を実施した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加させた。 ・ 共用部及び諸室の照明設備すべてをLED照明設備に更新したことで、光熱水費の大幅な削減に努めた。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業体構成者による専門的な知見を施設の管理運営に生かしており、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的・効率的に実施している。 ・ 利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費削減に努め、経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営を行った。

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>【令和3年度実績】 スタッフ対応の満足度：99.7%（クレオ大阪西）、受講者満足度：97.9%（クレオ大阪西 ※男女共同参画セミナー） 施設利用満足度：90.1%（こども文化センター）</p> <p>【参考：令和2年度実績】 スタッフ対応の満足度：100%（クレオ大阪西）、受講者満足度：98.6%（クレオ大阪西 ※男女共同参画セミナー） 施設利用満足度：93.0%（こども文化センター）</p>

令和3年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

・「SDGs LABO2022わかものアイデアコンテスト」や「Industrial Girl 大集合!ファッションショー&キャリアトーク」など、趣向を凝らして、若年層を対象にした興味深い事業を展開している。こうしたアイデアやノウハウについてクレオ大阪他館への共有・展開を期待する。

・新型コロナウイルス感染症による影響で中止となる事業が生じた場合、特にこども文化事業については、単に中止するのではなく、練習風景や制作過程など完成に向けたプロセスを伝える等により、事業の参加者が一定の達成感を感じられるような工夫を凝らしてもらいたい。

・男女共同参画施策の観点を取り入れている既存の子ども向けの作品についても調査・研究し、男女共同参画施策・こどもの健全育成に関する事業にも取り組んでもらいたい。

・当日のみの配信となっているオンラインセミナーについては、より広く男女共同参画施策に関する情報を提供できるよう、例えば、会員専用チャンネルで配信するなど、現状での課題（著作権や個人情報等）を解決する手法を検討いただきたい。

・貸室の空き状況、イベント情報、セミナーの申込状況など、タイムリーな情報発信を行うことで、施設利用や事業参加の促進に努めていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用や講座受講に関する満足度など多くの項目で、目標値を上回っている。（なお、新型コロナウイルス感染症による影響がある事項は対象外とする。） 引き続き、利用者や受講者の具体的意見を踏まえた改善に努めていただくとともに、提案時の目標を達成できるよう、課題分析し、利用促進に努めていただきたい。
管理運営の履行状況	A	<ul style="list-style-type: none"> 複合施設の特性を踏まえ、昨年度以上に両施設が連携して、双方の事業を展開した。 男女共同参画に関心をもってもらえるよう、若年層に興味があるテーマを取り上げるなど趣向を凝らした事業展開を行った。 当日のみの配信となっているオンラインセミナーについては、より広く男女共同参画施策に関する情報を提供できるよう、例えば、会員専用チャンネルで配信するなど、現状での課題（著作権や個人情報等）を解決する手法を検討いただきたい。 貸室の空き状況、イベント情報、セミナーの申込状況など、タイムリーな情報発信を行うことで、施設利用や事業参加の促進を強める取組みを実施していただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）	—	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響及び本市の対応を踏まえ、当該項目については評価対象外とする。

令和3年度 指定管理者年度評価シート

総合評価	A	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、施設間での相互連携やアイデアに富んだ事業展開など本市の男女共同参画施策の展開において創意工夫が見受けられ、令和3年3月に新たに策定した「第3次大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理運営を行っているとは評価できる。・施設利用の状況（利用者数・利用率）については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、提案時の目標を達成できるよう、引き続き課題分析し、利用促進に努めていただきたい。・今後も男女共同参画、こどもの健全育成の推進拠点としての役割を果たし、施設間のみならず、事業においても相互連携を図るなど、複合施設としての特長を発揮していただきたい。
------	---	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------